

## Chevreux-Bournazel Champagne La Parcelle

シュヴルー・ブルナゼル シャンパーニュ・ラ・パルセル

地域: Champagne

オーナー: Stephanie Chevreux ステファニー・シュヴルー

Julien Bournazel ジュリアン・ブルナゼル

地区、村: Barzy sur Marne

バルズイー・シュル・マルヌ

醸造・栽培責任者: Stephanie Chevreux ステファニー・シュヴルー

Julien Bournazel ジュリエン・ブルナゼル

HomePage: [www.facebook.com/champagnechevreuxbournazel](http://www.facebook.com/champagnechevreuxbournazel)



### ドメーヌ解説:

長い間、ブドウ栽培に携わってきた、ステファニー・シュヴルーとジュリアン・ブルナズルの2人が2012年に興したワイナリー。ステファニーは農業を、ジュリアンは数学を学び、1995年にヴァレ・ド・ラ・マルヌの小さな村、ロネの家へと引っ越す。17世紀に建てられたその家は、ワイナリーを興した後は、醸造場としても使われている。

シャンパーニュ地方へ移り住んですぐに、ブドウ栽培の勉強をはじめ、依頼されて畑の管理を任せられるようになる。彼らのワイナリーのシンボルにもなっている、ヤギ達とともに、7年間暮らし、2002年に畑の管理を請け負う委託会社を設立。Vit 'Manuの社名通り、手作業による作業、またバイオロジック、バイオダイナミック栽培による畑の管理を専門とする。

ステファニーはブドウ畑の選定の指導者としても優秀で、ジュリアンも剪定技術コンクールで金賞《セカトール・ドール》を持っている。彼ら自身のワイン造りは2012年だが、大小を問わず、バイオロジック栽培を手掛けるシャンパーニュの造り手たちと、20年以上、見識と技術を深めてきた。

2012年に、引退したあるヴィニキュロンが、バルズイー・シュル・マルヌのある、小さな区画“パルセル”の畑を売ってくれた。というのも、彼ら二人は15年の間、その畑の管理を請け負っていたからだ。厳格なステファニー、想像力豊かなジュリアンの2人の、共通の情熱でもって、シャンパーニュ・ラ・パルセルは持ち上げられた。

ラ・パルセルでのシャンパーニュ造りにおいて、全ての作業は二人一緒に行われる。お互いにプロフェッショナルとして認めあう二人。剪定、除草、トリートメントなどの、畑での作業はもちろん、醸造、瓶詰から販売まで、二人で話し合っ